

2013 年度ドクター研究員研究活動実績報告書

氏名	加藤 はるか
(研究テーマ名) フォレストから見る中世後期イングランド北西高地における農村の暮らし	
(研究活動実績) <p>筆者は博士論文の執筆に向け、これまで研究が手薄であった中世イングランド北西高地の農業、農村の暮らしについて、ウィンダミア・マナを対象に個別研究を行っている。本年度は以下の2点から研究を進めた。</p> <p>1つ目に、前年度末にこれまで続けてきたウィンダミア・マナの、村法に類似する史料の分析結果を論文として『社会経済史学』に投稿した結果、本年度、研究ノートとしての再投稿を勧めるとする査読結果を得た。よって本年度はウィンダミア・マナでの暮らしにおいて、バロニーのフォレストが重要な役割を果たしていたことに着目しながら、論文の修正を行い『社会経済史学』に再投稿した。</p> <p>2つ目は、ウィンダミアとそれに隣接する地域に広がる「バロニーのフォレスト」についての地理的状況、すなわち領域(フォレスト、集落、パークなどはどこに位置し、大きさはどのくらいか)、地形、気候(気温、降水量、土壌)などからの考察を試みた。地理学の知識が不足していた為、どのような資料が利用可能であるのか、またイギリスで行われている景観研究の手法の検討などの予備研究を中心に行い、来年度の現地調査に向けた準備を行った。本年度その成果については公表できなかったが、来年度は現地調査で必要な資料の入手と実地調査を予定していると共に、その成果を論文等で公表する予定である。</p>	